

事業シート(平成31年度予算)

事業名	21800 環境都市推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。
			款	2	総務費		個別分野	1	地球環境		
			項	1	総務管理費		施策概要	5	自然エネルギーを活かしたまちづくり		
			目	19	環境政策費		根拠計画	高山市環境基本計画			
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地球環境の保全と市民の環境意識の向上及び具体的な行動や参画を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・環境審議会の開催 ・高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催 ・市民等による自然エネルギー利用の普及啓発
----	------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	30,445		80,000MWh
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合	29.5%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		4,023	2,914	2,023			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		4,023	2,914	2,023			
個票枝番	主な事業内容						
	環境審議会	273	164	273			
	自然エネルギーによるまちづくり検討委員会	940	702	940			
	森のエコハウス施設修繕等	500	29	500			
	自然エネルギー利用の普及啓発	2,000	1,881				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		5,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
3,876	1,860	1,860	△ 163	
3,876	1,860	1,860	△ 163	
査定額	説明			
410				
600				
500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・環境審議会の開催(2回) ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催(3回) ・高山エネルギー大作戦フォーラム等の開催(参加者252人) ・公共施設における木質バイオマスによる熱供給事業を開始
評価等	・公共施設における木質バイオマスによる熱供給事業を開始することができた。熱供給事業のモニタリングを行うとともに、他の公共施設への導入を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギー利用日本一の環境都市をめざし、自然エネルギーの導入と省エネルギー対策の推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・自然エネルギー活用都市の構築
担当課予算要求ポイント	・自然エネルギー利用と普及啓発の推進

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度予算)

事業名	21810 森林づくり交流推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。
			款	2	総務費		個別分野	1	地球環境		
			項	1	総務管理費		施策概要	4	低炭素社会の形成		
			目	19	環境政策費		根拠計画	高山市環境基本計画、高山市地球温暖化対策地域推進計画			
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市部の自治体や企業等との交流を通じて森林保全を行うとともに、都市部での地元産材の利用拡大や二酸化炭素削減につなげる。	概要	・都市部の自治体や企業とのカーボンオフセット事業を推進するとともに、交流・連携を図る。 ・地元産材の活用を促進するため、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の活用や都市部自治体等へのPRを図る。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	5.6万トン		11.7万トン

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		5,350	1,636	2,850			
特定財源	国費()						
	県費(森林づくり交流推進事業費 68/100)	3,000	878	1,700			
	その他(カーボンオフセット事業費負担金)	1,000	284	400			
一般財源		1,350	474	750			
個票枝番	主な事業内容						
	千代田との協同による森づくり(カーボンオフセット)	5,200	1,481	2,700			
	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進	150	155	150			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		5,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
3,765	2,850	2,850	0	
1,700	1,700	1,700	0	
400	400	400	0	
1,665	750	750	0	
査定額	説明			
2,700				
150				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(保育間伐 7.17ha) ・みどりとふれあうフェスティバルに出展 ・みなと森と水ネットワーク会議に参加
評価等	・千代田区との協定に基づく森林整備については、森林の生育状況を考慮し、利用間伐から保育間伐に変更し実施した。引き続き、現地の状況を確認し、適切な森林整備によるカーボンオフセット事業を進める。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成31年度予算)

事業名	21820 自然エネルギー普及促進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。
			款	2	総務費		個別分野	1	地球環境		
			項	1	総務管理費		施策概要	5	自然エネルギーを活かしたまちづくり		
			目	19	環境政策費		根拠計画	高山市環境基本計画			
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然エネルギーの利用による暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを推進する。	概要	・市民や事業者による木質バイオマスなどの新エネルギー設備の導入を促進する。
----	--	----	---------------------------------------

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	30,445		80,000MWh
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	5.6万トン		11.7万トン

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		45,400	9,164	45,400		
特定財源	国費()					
	県費(自然エネルギー普及促進事業費 1/2)					
	その他(預託金元金収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	21,700	1,100	22,300		
一般財源		23,700	8,064	23,100		
個票枝番	主な事業内容					
	木質バイオマス活用促進事業補助金	15,000	6,265	15,000		
	未利用間伐材の搬出促進	5,999	2,890	6,000		
	地域団体の自然エネルギー活用支援	24,400	0	24,400		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		117,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
44,660	38,460	38,460	△ 6,940	
20,000	20,600	20,600	△ 1,700	
24,660	17,860	17,860	△ 5,240	
査定額	説明			
10,000				
4,000				
24,460				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ペレットストーブ等導入台数 67台 ・積まマイカーによる未利用間伐材収集量 648t ・公共施設における木質バイオマス熱供給事業の導入(しぶきの湯、桜香の湯)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・積まマイカーの運行によって地域の未利用材を活用しエネルギーの地産地消を促進することができた。 ・自然エネルギーによる発電事業については、送配電設備の容量不足により事業を進められない状況にある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設における木質バイオマス熱供給事業の普及を促進し、木質バイオマスの需要拡大を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・自然エネルギー活用都市の構築
担当課予算要求ポイント	・地域主導による自然エネルギーの活用支援

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成31年度予算)

事業名	21840 地球温暖化対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。
			款	2	総務費		個別分野	1	地球環境		
			項	1	総務管理費		施策概要	4	低炭素社会の形成		
			目	19	環境政策費		根拠計画	高山市環境基本計画、高山市地球温暖化対策地域推進計画			
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・クリーンエネルギー自動車の普及促進などにより低炭素社会の形成を図る。	概要	・電気自動車用充電設備の設置によるクリーンエネルギー自動車の普及促進
----	-------------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	5.6万トン		11.7万トン
化石燃料から自然エネルギーへの転換量(年間)	4,078		7,700kl

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		6,150	5,324	6,150			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		6,150	5,324	6,150			
個票枝番	主な事業内容						
	電気自動車用急速充電器の設置・運営	6,150	5,324	6,150			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		6,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
6,435	6,150	6,150	0	
6,435	6,150	6,150	0	
査定額	説明			
6,150				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・電気自動車用急速充電器の設置(2か所) ・急速充電器利用台数 3,066台
評価等	・民間との連携により、道の駅モンデウス飛騨位山・飛騨たかね工房に急速充電器を設置した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・自然エネルギー活用都市の構築
担当課予算要求ポイント	・クリーンエネルギー自動車の普及促進

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成31年度予算)

事業名	21850 生物多様性保全推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
			款	2	総務費		個別分野	1	地球環境	
			項	1	総務管理費		施策概要	3	生物多様性の保全	
			目	19	環境政策費		根拠計画	高山市環境基本計画、生物多様性ひだたかやま戦略		
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> その土地本来の生態系の保全や里地里山の保全と利用の推進などにより、生物多様性の保全を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境学習や山の自然学校による自然保護の必要性の啓発や自然と親しむ機会の提供 ・土地本来の木を植樹する「いのち森づくり」の実施 ・特定外来生物に関する知識の普及や防除活動の実施
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
特定外来生物防除活動団体数	15団体		35団体
特定外来生物防除活動参加者数(延べ人数)	512人		1,200人

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		13,205	9,509	10,185		
特定財源	国費()					
	県費(生物多様性保全推進事業費補助金 10/10)	2,000	5,000	4,000		
	その他()					
一般財源		11,205	4,509	6,185		
個票枝番	主な事業内容					
	乗鞍山麓五色ヶ原の森を活用した自然環境学習	3,500	2,262	3,500		
	いのちの森づくり(苗木植樹等)	1,700	796	1,700		
	特定外来生物の防除・啓発	7,550	5,986	4,550		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		9,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
9,275	10,185	10,185	0	
			△ 4,000	
9,275	10,185	10,185	4,000	
査定額	説明			
3,500				
1,700				
4,550				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境学習の開催 17校 853人 ・山の自然学校の開催 6回 162人 ・いのちの森づくり植樹の実施 37人 ・特定外来生物講習会、出前講座の開催 9回 250人 ・オオハンゴンソウ等の防除手法実証実験の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を市内小中学校が積極的に行った。 ・特定外来植物講習会や出前講座により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。 ・オオハンゴンソウの防除実証実験により、除草剤の防除効果を確認できた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き自然環境学習の機会を提供するとともに、市民による主体的な取り組みにつながるような働きかけを進める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・生物多様性の保全
担当課予算要求ポイント	

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成31年度予算)

事業名	62300 自然公園等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	国立公園、県立自然公園、白山ユネスコエコパーク、ジオパーク構想(地球科学的にみて重要な自然遺産を含む、自然と親しむための公園)などを活用し、自然環境の保全意識向上と自然とふれあう機会を充実します。等
			款	6	商工費		個別分野	1	地球環境		
			項	2	観光費		施策概要	1	自然環境の保全と活用		
			目	3	自然公園費		根拠計画	高山市環境基本計画			
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2284								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域特有の自然資源や希少動植物、自然公園等の保全と利用の推進などにより自然環境の保全と活用を図る。	概要	・国立公園、県立自然公園等の適正利用やユネスコ世界自然遺産、ジオパーク、ユネスコエコパークの取り組みを進める。 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森や既設の登山道、自然公園施設の維持管理を行うことにより、適正な利用と利用者の安全確保を図る。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合	29.5%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	増減(b)-(a)
		223,326	124,250	112,806		
特定財源	国費(地方創生拠点整備交付金等)	57,453	0			
	県費(乗鞍スカイライン道路パトロール事業委託金10/10等)	22,010	13,194	27,050		
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	42,100	24,400	10,800		
一般財源		101,763	86,656	74,956		
個票枝番	主な事業内容					
	乗鞍山麓五色ヶ原の森の保全・管理	18,481	28,925	24,971		
	乗鞍山麓五色ヶ原の森 新規ルートの整備	128,091	39,108	5,241		
	乗鞍スカイラインの適正利用の推進	33,420	33,703	36,680		
	エコパークの推進	1,020	1,010	1,000		
	ジオパークの推進	12,000	12,000	14,500		
	登山道管理	29,330	8,752	29,330		
◎ 1	県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		60,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
114,237	97,816	97,816	△ 14,990	
	8,250	8,250	8,250	
19,221	13,680	13,680	△ 13,370	
	1,100	1,100	△ 9,700	
95,016	74,786	74,786	△ 170	
査定額	説明			
23,290	指定管理委託料、山小屋修繕費等			
1,149				
34,310				
1,000				
14,500				
9,980	山岳トイレ整備の減			
12,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み 1,957人 乗鞍スカイラインの入り込み推計 104,316人 乗鞍フォーラムを開催し、約120人が参加 乗鞍早期開通事業を開催し、1,202人が参加 山の日制定記念ガイドツアーを開催し、92人が参加
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 国、県に対する管理財源確保への働きかけや関係団体等との連携を強化し、市の財政的負担の軽減を図る必要がある。 乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森の利用者減少が続いているため、国、県、地域と連携を図りながら入り込み増加につながる取り組みを進める必要がある。 乗鞍山麓五色ヶ原の森新ルート整備にあたり、国交付金の採択を受け、財源を確保することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森について利用者増加につながる具体的な取り組みを行う。 乗鞍については、地域振興と環境保全のバランスを考えながら、乗鞍自動車利用適正化方針に基づき事業展開するとともに、課題解決に向けて検討を進める。 ジオパークについては、飛騨山脈ジオパーク推進協議会や関係団体と連携を図りながら、地域での自主的かつ積極的な活動を促進し、日本ジオパーク認定を目指す。

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ユネスコエコパークの活用 ジオパークの推進
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ジオパーク、ユネスコエコパークの市民理解醸成 中部山岳国立公園及び周辺地域の活性化推進

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成31年度予算)

事業名	62300 自然公園等管理事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	環境政策推進課
枝番・内容	1 県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業			項	2	観光費		
			<input type="checkbox"/>			目	3	自然公園費		
								内線	2284	
								作成年月	H30.10	

事業の目的・概要(Plan)

目的	高山市における中部山岳国立公園及び周辺地域の活性化や誘客促進	概要	岐阜県との連携による協議会を設置し、同エリアにおける活性化に関する協議や調整、自然体験プログラムの造成や誘客イベント、広告宣伝などの企画、実施を行う
----	--------------------------------	----	--

[参考] H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) H31.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

H31当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	12,500
主な経費	県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金	
対前年度増減額(当初予算)		12,500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・協議会、幹事会等の開催 ・自然体験プログラムの造成 ・情報発信、誘客イベントの開催 ・メディアへの広告宣伝 等	
[スケジュール] ・H31.4～ 協議会の設立準備	